

2-4 環境林型県有林造成事業

事業目的

県行造林地の伐採跡地に県が再造林を実施した箇所において、保育等の適切な森林整備と管理を行い、二酸化炭素吸収や生物多様性の保全など、森林の多面的機能の強化を図ります。

事業効果

CO₂年削減効果

201t-CO₂

事業内容

【対象地】 県行造林地の伐採跡地について、地上権設定契約を更新し、県が再造林を実施した箇所

【事業内容】 保育・管理事業

平成29年度 事業量 下刈等 112.46ha

事業費 31,194千円(うち環境税充当額17,150千円)

【実施主体】 宮城県

【植栽樹種】 スギ, 広葉樹等

【契約期間】 100年



現状

【植栽後間もない森林】



森林に育てていくには、下刈などの保育や鹿、カモシカ、ウサギから植栽木を保護するための管理が必要です。



税導入後のイメージ

【植栽整備された将来の森林】



適切な植栽・保育により、将来にわたり、森林の公益的機能が発揮されます。